

認知症のある高齢者のことです。毎日のヘルパーさん、お風呂に入るためにはデイサービスも使っています。でも利用料を考えると使えません。奥さんの負担を軽くしたい。でも、家族がいたら家事のヘルパーは使えません。

…介護の現場で30年。いっぱいっぱい悔しい思いをしてきました。もつと政治がくらしを応援、福祉をよくしないとあかん！市政で働きたい！

医療・介護の現場で30年 いのち・くらしを守る



と決意しました。

地域のみなさんは、いい地域をつくらうと汗水ながしていらつしやいます。国も京都市も、地域のことは地域でと言い、お金も職員もつけません。地域づくりには、大型開発が必要なんじゃありません。

住民が主人公の地域へ、課題を一つ一つ解決するために支援する市政へ全力を尽くします。

日本共産党

党山科区介護・福祉委員長

鈴木とよこ

市会

すずき豊子

鈴木とよこ



1960年生まれ。舞鶴市出身。親和女子大学(神戸市)卒。大宅診療所と京都市左京南地域包括支援センターで約30年、医療事務、ケアマネジャーとして働く。民青同盟京都府常任委員、党東地区委員、左京地区委員を歴任。家族は夫と一男一女。



市会議員 北山ただお

私のあとつぎ、介護・福祉の現場などで活躍してきた鈴木とよこをよろしくお願いします。



鈴木とよこの
お約束

市民の「困った」に寄りそい、 地域とくらしを支えます

医療・介護、地域福祉の経験生かして

- ▶ **山科区にも看護師のいる介護施設を**
看護小規模多機能型居宅介護の開設に向けて支援をすすめます
- ▶ **ヘルパー難民を出さない**
訪問介護事業所が継続できるように、総合事業の訪問型サービスを見直します
- ▶ **居場所づくりを推進します**
「空き家」等介護予防をすすめる場所の提供、支援体制をすすめます
- ▶ **地域包括支援センターの体制を強化します**



山科区民の足を守る

- ▶ **山科南西部から区役所や鉄道駅へのバス路線をつくります**
- ▶ **山科東部(大塚・大宅)の循環バス路線をつくります**
- ▶ **バス停留所にベンチや上屋、点字ブロックなどを整備します**

地域とくらしを守る

- ▶ **給付制奨学金の実現、ブラックバイト・企業の根絶**
- ▶ **介護・福祉・保育職員の賃金など待遇改善**
- ▶ **通学・生活道路の安全対策**



市政に市民の声とどけ、お役に立ちます



子育て支援に全力

全員制の中学校給食の実現を！伊根町を視察しました。



SOSをキャッチし、つなぐ

「買い物に行けない方がいる」との相談を受け、即訪問。包括へ。



現場の声を集める

山科すべての介護事業所にアンケート、直接お話を聞いています。

優れた問題解決能力

鈴木さんは、大宅診療所で介護事業の責任者でした。その仕事ぶりは優れた統率力、判断力、調整力、問題解決能力を発揮し、てきぱきと仕事をしています。

公益社団法人信和会大宅診療所 所長 藤本眞次さん

た。また、困難な状況の高齢者に寄り添い、共感し、厚い信頼を受けていました。市会議員予定候補者としてその活躍を期待し心から推薦します。

